

田中貢太郎 たなか けんたろう 小説家、隨筆家、俳人。明治十二年二月一日高知縣生れ、昭和十六年二月一日歿（七八〇—一九五二）。號桃葉、桃葉小史、濁水漁郎、紅蛇樓、田中桃葉、田中濁水等。漢學塾で學び、上京して大町桂月、田岡嶺雲等と師事し、嶺雲晩年の著述を助勢。次で、雜誌「中央公論」に實錄物を發表して知られ、爾後怪異譚を中心し、小説、史傳多數があり、俳句にも長じた。昭和九年隨筆誌「博浪沙」を創刊主宰。

著譯書、俳人小説「浮藤博文」（田中濁水名、明治四十二年五月二十八日

大學館）、「奇話哀話」（大正八年十二月十五自米山堂）、「切支丹

屋敷」（大正七年十月十日玄文社）、「怪談」（大正八年五月二十五

日玄文社）、「月の夜話」（大正八年十一月十八日天佑社）、「五月

雨夜話」（大正九年五月十五日天佑社）、「黒雨集」（大正十二年十

月二十五日大阪毎日新聞社東京白目新聞社）、「岡崎巷説」（大正十二年一月十八日

春陽堂「讀物文藝叢書」）、「敘情日本大震災史」（高山辰二共編著、

五版・大正十二年六月二十日教文社）、「評釋桂月文粹」（田中桃葉名、

再版・大正十二年十一月十五日大阪・巖々堂出版部）、「十五より酒

飲み習ひ」（大正十四年二月十日「松堂書店」）、「剪燈新話」（大

正十五年八月十五日新潮社、再刊・昭和十四年八月二十日「新潮文

庫」）、「蛇精」（大正十五年九月十五日改造社）、「貢太郎見聞録」

（大正十五年十一月十七日大阪毎日新聞社東京白目新聞社、再刊

「貢太郎見聞録」昭和五十七年六月十日中央公論

社「中央公論」）、「怪談青燈集」（昭和二年八



月十日騒人社書局「騒人文庫」）、「人情の曲」（昭和二年六月五日

- 桂月堂）、『怪談全集・歴史篇』（昭和二年七月十八日改造社）、『奇談全集・歴史篇』（昭和四年七月十日改造社）、蒲松齡作『聊齋志異』（譯）公田運太郎原註、昭和四年十一月十日北隆堂書店）、『奇蹟怪談實話』（昭和四年十一月十日平凡社、『明治大正實話全集』）、蒲松齡作『聊齋志異他一篇』（譯）昭和五年十月二十日改造社、『世界大衆文學全集』（、『世園寺公堂傳』（昭和七年六月二十一日改造社、『偉人傳全集』（、『酒・散策・俳句』（昭和七年七月十日内外社）、『京都靈山招魂社―維新勳王志士の祭壇』（合著・澤本江南編、昭和八年七月二十日帝國公民教育協會）、隨筆『酒屋』（昭和九年六月十八日學藝社）、『朱寫』（昭和九年十一月二十日竹村書房）、『志士傳奇』（昭和十年八月二十一日改造社、『維新歴史小説全集』（、『隨筆』杖頭錢』（昭和十年八月二十一日學藝社）、『談話・大學・中庸』（國策版・昭和十四年一月十日大東出版社、『漢籍之語彙叢書』（、『世園寺公堂』（昭和十五年十二月二十四日改造社、『改造文庫』（、『孔子と其の生涯』（内題『孔子』昭和十七年一月十五日東海出版社）、『南海勳王傳』（扉『南海勳王傳』昭和十七年二月二十五日長隆會書店）等。